

かしわの☆レポート

発行責任者：柏野大介 恵庭市住吉町 2-2-1 4 web : <https://kashiwano.info/>
電話：090-2695-2880 Email : dkashiwano@gmail.com



第4回定例会は、11月27日に開会し、補正予算など22件の議案と2件の意見案などを議決し、12月16日で閉会しました。また12月25日には臨時会が開かれ、補正予算の審議が行われました。

今回の定例会では、私たちが議員提案した条例案も審議されましたが、継続審査となりました。議案や一般質問の内容などについてご報告いたします。

※すべての記事の詳細は、こちらのQRコードからご覧いただけます。



市民スキー場の利用促進を

子どもの冬季スポーツ環境改善を目的に、体育施設条例の改正案を議員提案しました。提案の内容は、市民スキー場の小中学生のリフト使用料を無料とする内容です。

恵庭市民スキー場は2018年にリフトを更新しましたが、雪不足などもあって、利用拡大の余地があります。道内でも後志などではリフト料金が高騰しており、冬に気軽に楽しめる場としての市民スキー場の優位性は高まりつつあります。とはいえ、スキーは用具を揃える必要があり、子どもが練習を重ねるには経済的な負担も避けられません。

総合体育館などの屋内体育施設では中学生以下は無料で利用することができることから、冬季間はどうしても屋内スポーツの機会が増えます。少しでも屋外スポーツの負担を減らすことで、北海道らしい冬のスポーツに親しんでもらうことは、未来に向けた投資であると考えています。

議案は、さらに審議の必要があるとして継続審査となりました。ぜひこの提案に対するご意見を、私たちだけでなく、みなさんが応援している議員にもお伝えください。

奨学金条例で附帯決議を可決

来年度から高校生を対象とした奨学金制度が創設されるにあたって、条例の制定が審議されました。返

還が必要となるケースや高校入学後の不登校などについては、条例上明らかではなく、規則に委任されることとなりますが、その内容について委員会では不十分であるということで、附帯決議をつけることで一致をしました。学びを保障するという視点で、運用が改善されることを期待しています。

物価高対策の補正予算

国の補正予算成立に伴い、恵庭市としての物価高騰の対策事業が臨時会で提案をされました。

恵庭市独自の物価高対策の主なものは、非課税世帯等に対する1世帯2万円の給付と、大学生世代(19～22歳)に対するデジタルギフト2万円の支給です。

すでに全市民に対する商品券配布を終えたところであり、今回の事業では対象を限定して、支援額を増やしたところが特徴です。

お話しませんか？

■市民と歩む会 第26回 まちかどトーク

「市民と歩む会」の2名(新岡、柏野)による報告と対話の場です。

日時：1月21日(水) 18:30～20:00

会場：恵み野会館 集会室

■第6回まちづくりを学ぼう会

「市民と歩む会」の2名と一緒に学ぶテーマ別勉強会です。今回のテーマは、「介護」です。

できるだけわかりやすく、お話しします。

日時：2月1日(日) 10:00～11:30

会場：えにあす 会議室8(緑町2-1-1)

■かしわのとえにわを語る会

定例議会ごとに(年4回)開催する少人数の座談会です。あなたが普段感じている恵庭のこと、ぜひお話を聞かせてください。

日時：2月3日(火) 18:30～19:30

場所：えにあす 会議室4(緑町2-1-1)

一般質問では、①市長の所信表明、②会計年度任用職員の処遇改善、③除雪体制、④ゼロカーボンシティの実現の4点の質問をしました。

政策変更はなぜ？見えない意思決定

①市長の所信表明では、これまでの議会では実施しないと答弁をしたものなど、方向性に大きな変化があった(1)ファイターズファーム誘致、(2)産科医誘致、(3)第2子以降の保育料無償化、(4)財政運営の基本指針の4点について、現状認識など、何が変わったのかを確認しました。再質問以降、市長からの答弁はなく、政策変更の理由は明らかになりませんでした。

議会からの提案で実施するのではなく、あくまでも自分の考えで政策を進めたということにしたいようです。政策変更のときこそ、開かれた議会の中で真摯な答弁が求められます。

非正規職員の声は聞こえるか

労働力人口の減少が現実のものとなり、市役所においても、やりがいのある職場として環境改善が必要です。正職員は職員団体を通じて、意見反映の仕組みが整えられていますが、全体の1/3を占める会計年度任用職員(非正規職員)の意見をくみとる仕組みは十分とは言えません。

旭川市や新潟市などでは、会計年度任用職員も含めたアンケートや第三者機関による聞き取りを行って、環境改善に努めています。恵庭市では、管理職のヒアリングで十分なので、その必要はないとのこと。対面だけでは把握できないからこそ、丁寧に把握していくことが必要だと思います。

除雪体制を守れるか

市では、除排雪や道路維持を担う「車両センター」を2027(令和9)年度から民間に全面委託する方針です。

これまでは行政改革の名の下、行政の役割を民間に委託する流れがありました。一方で、2040年には社会インフラの維持に必要な人材は民間でも不足するとされてお



イラスト著作者:freepik

り、インフラの維持を担う人材を長期的な観点から育成していく必要があります。

すでに札幌市のような都市部でさえ、現在の除雪の質を維持できないということで、現在のあり方を見直す議論が始まっています。災害時を含め、地域の中に市民の暮らしを支える役割を育てていくという視点が必要です。

ゼロカーボンをさらに前に

恵庭市では、2022(令和4)年にゼロカーボンシティを宣言し、温室効果ガス実質ゼロに向けた取組を進めています。これまでは、実態把握に重点を置いた取組が進められてきましたが、実際の削減は順調とは言えません。

今後はより小規模な事業者も削減に取り組めるよう基金を活用したインパクトのある省エネや再エネ推進の補助制度などが必要です。ゼロカーボンの取組は、事業者の収支を改善することだけでなく、地域全体としても外部に流出する資金を減らし、経済の域内循環を高めることにもつながります。

議員のボーナスを上げる前に

これまでも、議員等の期末手当が著しく高いということは指摘してきましたが、今年度も、議員提案によって、期末手当の引き上げが行われました。

職務専念義務がない以上、国の特別職を超える月数(勤勉手当分)は、支給するべきではありません。

国・市：一般職 4.65ヵ月分	期末手当(2.525ヵ月分)	勤勉手当(2.125ヵ月分)
国：特別職 (国会議員等) 3.5ヵ月分	期末手当(3.5ヵ月分)	(1.15ヵ月分)
恵庭市：特別職 (市長：市議等) 4.65ヵ月分	期末手当(4.65ヵ月分)	

私は、これまでもこの不当に高い期末手当の引き上げに反対し、超過分については、受取拒否のために供託してきました。供託の総額は325万円になりました。



いつでもご連絡をお待ちしています

かわの大介公式LINEは、24時間いつでもご連絡していただくことができます。ニックネームを使用すると、匿名での連絡も可能です。